

# 特集 茨城県の総合計画

## 「活力があり、県民が日本一幸せな県」 実現への挑戦

茨城県政策企画部長  
北村 孔敬 氏

筑波総研代表取締役社長  
野口 稔夫

茨城県では、2022年3月、今後の県政運営の基本方針となる「第2次茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦」を策定しました。世の中が目まぐるしく変化の中で、計画に新たに加えられた重要な観点や今後の政策の方向性などについて、茨城県政策企画部長の北村孔敬氏に伺いました。

### 新しい総合計画の策定

#### —総合計画の概要についてお聞かせください—

総合計画とは、都道府県や市町村が行政運営の基本方針として策定するものです。本県では、2018年度から2021年度までを計画期間とした前総合計画（以下、「前計画」）に基づき、様々な取組を推進してきました。

第2次茨城県総合計画（以下、「新計画」）は、前計画の期間満了にあわせて、これまでの取組の成果や本県を取り巻く環境の変化、本県の発展可能性などを踏まえ、2022年度から2025年度までを計画期間として内容を刷新したものです。

前計画では、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を基本理念とし、「Ⅰ.新しい豊かさ」「Ⅱ.新しい安心安全」「Ⅲ.新しい人財育成」「Ⅳ.新しい夢・希望」の4つのチャレンジを柱とした政策・施策を展開してきました。

新計画では、「本県を取り巻く環境の変化」や「発展可能性」などを踏まえたうえで、基本理念の実現に向けて、「新型コロナウイルス感染症対策の強化」とともに、これまでの4つのチャレンジを進化させる政策を「NEXTチャレンジ」として推進していきます（図1）。

### 変化に対応するための新たな観点

#### —「茨城県を取り巻く環境の変化」とその対応についてお聞かせください—

人口減少・超高齢化をはじめ、新たな感染症の世界的な拡大、気候変動に伴う災害の激甚化など、予測困難な「非連続の時代」を迎えています。本県を取り巻く環境については、新計画の中で「時代の潮流」としてまとめていますが、変化に対応していくための新たな観点として、次の4つを加えました。

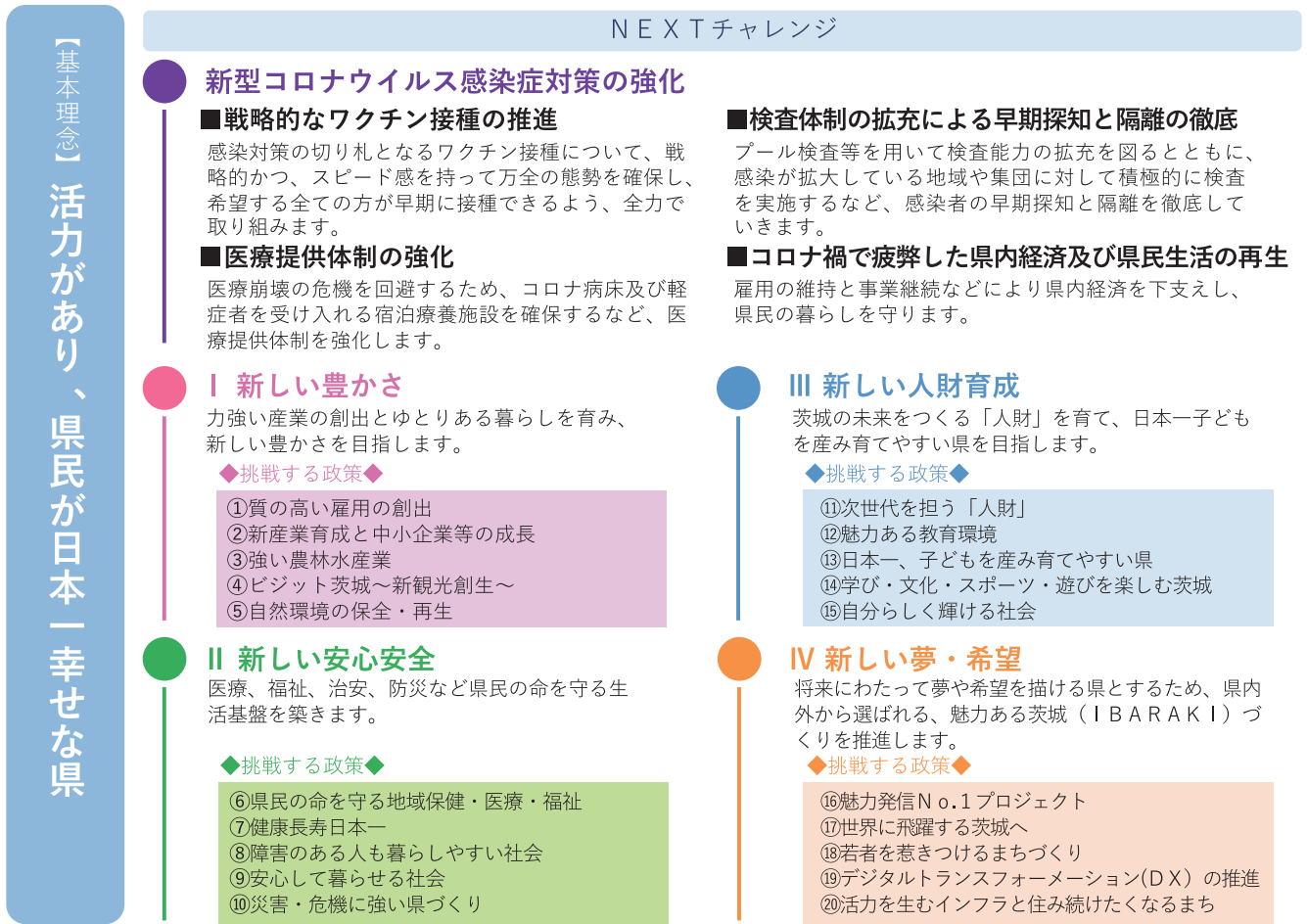
#### ①ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

2019年12月に初めて感染が確認された新型コロナウイルスは、世界中に感染が拡大し、2年以上を経過した現在でも、幾度もの変異を繰り返しながら、私たちの生命と健康、経済、文化的活動などに大きな影響を与えています。そのため、直近の政策形成において、ウィズコロナ・ポストコロナへの対応を踏まえるとともに、将来においても、また新たな感染症が発生した場合に適切な対応ができるように備える必要があります。

#### ②デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

デジタル化の推進については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、DXという形で、民間企業においても行政機関においても、「今まさに

■図1. 「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けたNEXTチャレンジ



取り組むべきこと」として認識され、社会のデジタル化が加速しています。こうした中、本県においては、一早く行政手続きのオンライン化を進めるとともに、民間企業等によるDXの取組に対して支援を行ってきましたが、引き続き強力にデジタル化を進め、県民の幸せが実現できる環境を整備していく必要があります。

### ③カーボンニュートラル産業拠点創出への挑戦

世界的な潮流となっている「カーボンニュートラル」への対応は、本県の臨海部に集積する鉄鋼や石油精製、石油化学などの大規模製造業にとって、ビジネスモデルの転換を迫られるほどの大きな課題となっています。その一方で、本県は、水素などの新エネルギーの拠点になり得る港湾や、大規模サプライチェーンの担い手となる企業、技術研究・開発を通して企業の取組を支援する大学や研究機関を有しているため、こうしたポテンシャルを活かすことで、ピンチをチャンスに変え、カーボンニュートラルをリードする存在になることも可能であると考えています。

### ④社会の成熟に伴う「幸福」への注目の高まり

社会が成熟するにつれて、こころの豊かさが重視されるようになり、近年、幸せや満足の度合いを「見える化」する試みが国内外で活発化しています。

本県では、前計画から「活力があり、県民が日本一幸せな県」を基本理念に掲げてきましたが、新計画においては、県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づけるよう、挑戦を続けられることを「幸せ」と定義し、その「幸せ」というものについて県独自の尺度を作り、「見える化」する試みとして「いばらき幸福度指標」を導入しました。

いばらき幸福度指標は、政府統計などを根拠とする指標を中心に構成しています。個人の幸福感は主観的なもので、それを把握して変化を分析することは非常に困難であることから、内閣府の先行研究などを参考として、主観的な幸福感と関連があるとされている客観的な指標を設定しました。

この指標を用いて全国との相対的な比較を行うことで、課題の把握や政策の方向性の検討に活かしていきます。

また、政策・施策の目指すべき水準を分かりやすく示すため、幸福度指標とは別に「主要指標」を設定し、政策・施策の成果等を分析・評価する基準とするとともに、施策や事業の改善にも活用します。

# — いばらき幸福度指標について —

いばらき幸福度指標は、公表されている政府統計等をもとに、客観的指標で幸福を定量的に把握する試みです。計画に掲げる4つのチャレンジごとに、特色となるキーワードを抽出し、関連する38の指標を設定しました。そして、これらの数値が全国平均からどのくらい離れているかをスコア化して、全国の中での本県の順位づけを行います。

直近では、トータルで全国9位という結果が出ていますが、個別にみていくと、本県の良いところや課題が分かりやすく現れており、もっと良くなるための「伸びしろ」がまだまだあることもお分かりいただけると思います。

| キーワード                        | 指標名                                                                    | キーワード別スコアと全国順位 |
|------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------|
| <b>I. 「新しい豊かさ」へのチャレンジ</b>    |                                                                        |                |
| 雇用                           | ①雇用者報酬（雇用者1人当たり）<br>②正規雇用率                                             |                |
| 産業振興                         | ③県民所得（県民1人当たり）<br>④工場立地件数<br>⑤労働生産性（1時間当たり）                            |                |
| 農林水産業                        | ⑥農林水産業の付加価値創出額（県民1人当たり）                                                |                |
| 観光振興                         | ⑦外国人宿泊者数<br>⑧国内旅行者数                                                    |                |
| 環境保全                         | ⑨CO <sub>2</sub> 排出量（県民1人当たり）<br>⑩一般廃棄物リサイクル率                          |                |
| <b>II. 「新しい安心安全」へのチャレンジ</b>  |                                                                        |                |
| 地域医療・介護・保健                   | ①医師数②看護職員数③介護職員数（いずれも県民10万人当たり）<br>④介護・看護を理由とした離職率<br>⑤自殺者数（県民10万人当たり） |                |
| 健康長寿                         | ⑥健康寿命                                                                  |                |
| 障害者自立支援                      | ⑦障害者雇用率                                                                |                |
| 犯罪防止                         | ⑧刑法犯認知件数（県民千人当たり）                                                      |                |
| 防災対策                         | ⑨自主防災組織カバー率<br>⑩自然災害死者・行方不明者数                                          |                |
| <b>III. 「新しい人財育成」へのチャレンジ</b> |                                                                        |                |
| 教育振興                         | ①子どものチャレンジ率②大学進学率<br>③学力④教員のICT活用指導力                                   |                |
| 産産・育児                        | ⑤合計特殊出生率⑥待機児童率                                                         |                |
| 学び・文化・スポーツ・遊び                | ⑦教養・娯楽（サービス）支出額<br>⑧都道府県指定等文化財件数<br>⑨子どもの運動能力                          |                |
| 多様性・女性活躍・人権                  | ⑩パートナーシップ制度人口カバー率<br>⑪女性の管理職登用率<br>⑫人権侵犯事件件数（県民1万人当たり）                 |                |
| 働き方                          | ⑬実労働時間                                                                 |                |
| <b>IV. 「新しい夢・希望」へのチャレンジ</b>  |                                                                        |                |
| 国際交流                         | ①留学生数（県民10万人当たり）                                                       |                |
| ベンチャー創出                      | ②起業率                                                                   |                |
| 若者に魅力ある雇用                    | ③本社機能流出・流入数<br>④若者就職者増加率                                               |                |
| DX推進                         | ⑤デジタルガバメント率（市町村）                                                       |                |
|                              |                                                                        |                |

総合9位

## 茨城のポテンシャルの更なる発現と磨き上げ

### 一茨城県の発展可能性と政策の方向性についてお聞かせください

前計画においては、「茨城のポテンシャルの発現」と題して、本県の5つのポテンシャルと発現させるべき方向性を示し、それに向けた取組を行ってきました。新計画では、「茨城のポテンシャルの更なる発現と磨き上げ」と題して、本県のポテンシャルとそれらを活かしてきた成果、そして更に磨いていくための政策の方向性をまとめていきます。

#### ①都市的な生活と豊かな自然を活かした茨城らしい暮らしやすさへ

本県は、東京圏に近接していながら水と緑に恵まれた県土を持ち、全国第4位の可住地面積、ゆとりある居住環境を備え、気候も温和で自然災害が少ない暮らしやすい環境です。近年、こうした環境が広く認知され、東京圏からの転入者が増加しています。また、サイクリングやキャンプなど、豊かな自然を活かしたアクティビティへの注目が高まり、地域活性化への取組も広がっています。さらに、2017年度の一人当たりの県民所得が全国屈指の経済成長が実現しています。

今後についても、都市的な生活と自然の豊かさを併せ持つ本県の恵まれた環境を有効に活用するとともに、積極的なアピールを進めていきます。

#### ②科学技術や産業の集積等を活用し、

##### 将来を担う産業の創出へ

近年の本県は、全国トップクラスの企業誘致実績を誇り、また、AI、IoT、ロボット、次世代自

動車といった新たな成長分野に挑む企業の本社や研究施設の県内立地が進んでいます。さらに、東海地区やつくば地区における最先端科学技術の集積や、日立地区のものづくり産業や鹿島地区の鉄鋼・石油化学などの素材産業の集積があります。

このような強みを活かして、宇宙ビジネスやカーボンニュートラル産業など、新産業創出に向けたプロジェクトを推進するとともに、IT企業や地元経済団体とIT教育プログラムに係る協定の締結など、次世代の産業を担う「人財」育成を進めています。

今後についても、科学技術や産業の集積を最大限活用し、将来を担う産業の創出に取り組んでいきます。

#### ③全国をリードし、世界へ羽ばたく農林水産業へ

本県は、広大で肥沃な農地、黒潮と親潮が交錯する豊かな海、首都圏に位置する地理的優位性などの強みを背景に、県内各地で品質に優れた農林水産物が豊富に生産されており、「食材の宝庫」として日本の食料マーケットを支えています。また、国内外への販路拡大や農林水産物のブランド力強化、農地の集積・集約化による経営規模の拡大に積極的に取り組んだ結果、農産物の輸出額が2016年度から2020年度の4年間で約6倍となったほか、わずか3年で作付面積が100haを超える水稲メガファームが創出されるなど、確かな進展がみられています。

今後についても、本県の持つ農林水産業の優位性を活かしながら、農林水産物の付加価値向上や販路、経営規模の拡大などの取組を更に進めることにより、儲かる農林水産業の実現に向けた動きを加速化させるとともに、持続可能な農林水産業に向けた取組を更に推進していきます。

### 数字で見る茨城県のポテンシャル 茨城県HP「茨城の豆知識」より



## ④広域交通ネットワークの整備による

### 新たな交流・広域連携の推進

本県では、高速道路、鉄道、港湾、空港といった陸・海・空の広域交通ネットワークが整備されており、これらをつなぐ幹線道路の整備も進んでいます。

道路においては、圏央道の全線4車線化、東関東自動車道水戸線の潮来IC～銚田IC間の整備も進められており、更なる企業立地の促進や広域的な交流の拡大が期待されています。

鉄道においては、つくばエクスプレスや地下鉄8号線の延伸が期待されているほか、ひたちなか海浜鉄道では延伸に係る事業許可を取得し、今後の開業を目指しています。港湾については、茨城港と鹿島港の貨物の取扱いが増加しているほか、2019年には、本県初の外国クルーズ船「セブンシーズマリナー」の寄港が実現し、港湾がインバウンド観光の玄関口となることが期待されています。

茨城空港では、国際線が上海、西安及び台北、国内線が札幌、神戸、福岡及び那覇への定期便が就航するとともに、国内外との様々なチャーター便が運航されるなど首都圏の航空需要の一翼を担っています。

今後については、これらの陸・海・空の広域交通ネットワークを活用し、様々な分野における交流の拡大と活性化を進めていきます。

## ⑤地域資源の再発見・発信強化による

### 魅力あふれる茨城へ

本県には、「袋田の滝」や「筑波山」などの豊かな自然景観、「常陸国風土記」や「大日本史」、「弘道館」、「偕楽園」などの歴史や文化、「結城紬」、「笠間焼」、「真壁石燈籠」などの伝統的工芸品、「綱火」、「日立風流物」、「常陸大津の御船祭」などの無形

民俗文化財、新たに日本遺産に認定された「牛久シャトー」と「かさましこ」（笠間市と栃木県益子町）など、県内各地域に豊かな伝統文化が今なお息づいています。

近年においては、「国営ひたち海浜公園」や「牛久大仏」の景観などが国内外から注目を浴びているほか、「いばらきフラワーパーク」や「アクアワールド茨城県大洗水族館」、「偕楽園」などの施設において、民間活力を活用した魅力の磨き上げが行われるなど、本県は魅力的な観光地を数多く有しています。

さらに、本県の長大な海岸線を活かしたマリンスポーツや、「竜神大吊橋のバンジージャンプ」、ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」、県北地域の自然環境を活かした「茨城県北ロングトレイル」、日本一の施設数を誇る「キャンプ」など、近年需要が高まっているアウトドア・アクティビティの充実が図られています。

加えて、「鹿島アントラーズ」「水戸ホーリーホック」「茨城ロボッツ」「茨城アストロプラネッツ」などのプロスポーツ、「土浦全国花火競技大会」や各地域の祭りなど、県内には多様なエンターテインメントがあります。

今後も、地域の魅力が国内外に広く評価されるよう、これら先人から引き継いだ自然、歴史、芸術、伝統文化や、観光地、アクティビティ、エンターテインメントなど、多様で魅力あふれる地域資源を発見・理解し、磨き上げ、効果的・積極的に発信していきます。

—ありがとうございました。私ども筑波銀行グループも、茨城県の発展と県民の皆さまの幸福のために尽力してまいりますので、引き続きよろしく願い申し上げます—



袋田の滝



国営ひたち海浜公園



いばらきフラワーパーク



筑波山



アクアワールド茨城県大洗水族館



つくば霞ヶ浦りんりんロード

(写真：観光いばらきHPより)

# 令和4年度茨城県当初予算の事業について

新計画に基づき令和4年度に取り組む事業で、現在および将来の企業経営に関わりが深いと考えられるものを、P11の「NEXTチャレンジ」の柱ごとに筑波総研でピックアップしましたのでご紹介します。

## I. 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

### (1) カーボンニュートラルへの取組

茨城県は、カーボンニュートラルの時代をリードすべく、令和3年度には、「カーボンニュートラル産業拠点創出プロジェクト」を立ち上げ、官・民・学連携の基盤となる「いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出推進協議会」を設置したほか、新たな基金を創設し、200億円を拠出しました。

今年度については、先導的なモデルの創出や企業が行うフィージビリティスタディ（実行可能性調査）への支援、中小企業によるカーボンニュートラルに向けた取組への支援などの事業が計上されています。

#### ◆カーボンニュートラル先導モデル創出推進事業（産業戦略部） ……【当初予算額 50百万円】

- ・水素などの新エネルギーの需要創出に向けて、先進技術を活用した先導的な実証プロジェクトの構築を促進

#### ◆いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出推進事業

- （政策企画部） ……【当初予算額 38百万円】
- ・新エネルギーのサプライチェーン構築に向けたフィージビリティスタディへの支援等により、カーボンニュートラル産業拠点の創出を推進

#### ◆港湾計画調査事業

- （土木部） ……【当初予算額 17百万円】
- ・茨城港・鹿島港のカーボンニュートラルポート形成を目指し、新エネルギー供給拠点の形成やカーボンニュートラルターミナル化の検討など、港湾機能高度化の実現に向けた取組を推進

#### ◆中小企業資金融資制度関連事業（カーボンニュートラル関連分）

- （産業戦略部） ……【当初予算額 1,803百万円】
- ・新分野進出等支援融資により、カーボンニュートラル実現に向けた中小企業の新分野進出や事業拡大を金融面から支援

### (2) 産業団地のさらなる開発と企業誘致

企業立地が順調に進んでいることから、用地の供給が間に合わない状況が見込まれる圏央道周辺地域における産業団地の造成や立地促進の事業が計上されています。

#### ◆工業団地整備調整推進事業/坂東山地区土地造成事業

- （立地推進部・企業局）…【当初予算額5,398百万円】
- ・坂東市山地区において、県施行による産業用地の早期開発を推進し、優良企業の誘致活動を展開するとともに、更なる開発の候補地選定に向けて必要な各種調査を実施

### (3) 儲かる農林水産業・地場産業の育成

茨城県の自慢である農林水産物や、関東地方では最も多い36の酒蔵で造られる地酒などの高付加価値化、販路や経営規模の拡大支援などの事業が計上されています。

#### ◆いばらき農林水産物ブランド確立PR事業

- （営業戦略部） ……【当初予算額 31百万円】
- ・常陸牛、常陸の輝き、恵水、栗、イバラキングについて、話題性のある取組を推進し、メディア露出を図ることで、ブランドを確立

#### ◆銘柄畜産物ブランド支援事業

- （農林水産部） ……【当初予算額 22百万円】
- ・新たな肉質基準を導入すること等による常陸牛の高品質化とブランド力向上、生産量が日本一の県産鶏卵PR動画の制作等による消費拡大

#### ◆農地集約型大規模水田経営体育成加速化事業

- （農林水産部） ……【当初予算額 144百万円】
- ・水田農業の所得向上モデルとして、集約化に重点を置いた大規模水田経営体（100ha程度）を短期間で育成

無人トラクターを活用した大規模水稲経営



#### ◆いばらきオーガニックステップアップ事業

- （農林水産部） ……【当初予算額 119百万円】
- ・県北地域における大規模有機モデル団地の整備への支援、有機農産物の需要と生産を拡大するための体制づくり、有機農業の拠点として積極的に取り組む市町村への支援

#### ◆いばらき林業トップランナー育成支援事業

(農林水産部) ……【当初予算額 180百万円】  
・森林経営の集約化に積極的に取り組む経営体を対象に、スマート林業技術の導入等を支援

#### ◆「いばらきの養殖産業」創出事業

(農林水産部) ……【当初予算額 96百万円】  
・ICTの活用による養殖産業に係るコストや労力の削減とビジネス化に向けた実証、茨城産キャビアの商品力強化等を推進

#### ◆茨城地酒振興事業

(産業戦略部) ……【当初予算額 50百万円】  
・県産日本酒の魅力を強力に発信するため、いばらき地酒バー水戸を移転リニューアルし提供サービスを拡充

### (4) デスティネーションキャンペーンを契機とした観光振興

2023年10月から12月にかけて、「デスティネーションキャンペーン」が茨城県で開催されることになりました。デスティネーションキャンペーンとは、JRグループ6社と県・市町村・地元観光事業者が一体となって、開催地での魅力的な観光資源の紹介、イベント開催やおもてなしの取組について、JRグループの宣伝媒体を活用した集中的な宣伝を全国で実施する国内最大級の観光キャンペーンです。この一大イベントに向けて、本県の知名度向上・イメージアップや観光客の誘客促進などの事業が計上されています。

#### ◆デスティネーションキャンペーン事業

(営業戦略部) ……【当初予算額 107百万円】  
・「アウトドア」、「食」、「新たな旅のスタイル」をテーマに、集中的なプロモーションを実施

#### ◆観光消費拡大推進事業

(営業戦略部) ……【当初予算額 67百万円】  
・ポストコロナにおける観光需要の創出を図るため、アウトドアや食などをテーマとした稼げる観光地域づくりを推進

#### ◆サイクルツーリズム推進事業

(県民生活環境部) ……【当初予算額 91百万円】  
・増加するサイクリング需要のさらなる拡大と消費につなげるため、各地域の特色を活かしたサイクルツーリズムを全県的に推進

大洗・ひたち海浜シーサイドルート



## II. 「新しい安心安全」へのチャレンジ

### (1) 介護人材の確保、医療福祉従事者の処遇改善

今後ますます不足していく介護人材を確保するための外国人留学生の受入促進や技能実習生への日本語学習支援、看護・介護・障害福祉職員の離職等を抑制するための賃上げ支援などの事業が計上されています。

#### ◆介護福祉士養成校外国人留学生受入支援事業 (福祉部) ……【当初予算額 9百万円】

・介護人材を確保するため、外国人留学生が海外の日本語学校から県内の介護福祉士養成校に修学するルートを開拓

#### ◆介護職種技能実習生日本語能力向上支援事業 (福祉部) ……【当初予算額 6百万円】

・介護人材を確保するため、「茨城県コース」の技能実習生及び県内施設等から選抜した優秀な技能実習生に対し、介護福祉士国家試験に合格するための集中的な日本語学習支援を実施

#### ◆看護・介護・障害福祉職員等処遇改善関連事業 (保健医療部・福祉部) 【当初予算額 4,111百万円】

・看護職員や介護・障害福祉職員等の収入を一定程度引き上げるため、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、医療機関や事業所等に必要な費用を補助

## III. 「新しい人財育成」へのチャレンジ

### (1) サイエンス、ITの専科高校の設置

大きく変化する社会や様々な課題に対応して社会を動かせる人材を育成するため、県立の中高一貫教育校の設置を進めてきました。2022年度には計13校となり、都道府県立では全国1位の数です。

これらに加えて、2023年度にはつくば工科高校を県内初のサイエンス専科高校に、友部高校を公立校では全国初のIT専科高校に改編するための事業などが計上されています。

#### ◆県立高等学校改革プラン推進関連事業

(教育庁) ……【当初予算額 650百万円】

・2023年度にサイエンス専科高校(現つくば工科高校)、IT専科高校(現友部高校)に改編する学校における実習室や実習機器の整備、中高連携の取組の民間企業委託によるそれぞれの高校における教育内容の充実

### (2) ダイバーシティ社会の実現

2019年7月、都道府県で初となるパートナーシップ制度として「いばらきパートナーシップ宣誓制度」を導入しました。また、2021年7月には、

年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮される社会を実現することを目的に、「いばらきダイバーシティ宣言」を発表するなど、多様性を認め合う社会の実現に向けた事業が計上されています。

#### ◆ダイバーシティ推進・啓発事業

(県民生活環境部) ……【当初予算額 20百万円】

- ・県内企業や団体等におけるダイバーシティの取組を促進、次世代を担う若年層を中心とした県民の意識啓発

### IV. 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

#### (1) 台湾・香港などへのプロモーション強化

海外での現地商談会等の実施により需要開拓や販路開拓等を支援しており、農産物の輸出額が4年間で6倍になるなど、輸出商談の成約が増加しています。2022年度はこうした支援の継続とともに、台湾をターゲットにした大規模なプロモーション事業などが計上されています。

#### ◆台湾いばらき経済交流促進事業

(営業戦略部) ……【当初予算額 500百万円】

- ・茨城を強烈に印象づける他県でも例のない台湾最大級のプロモーションを展開、県産品の輸出拡大や本県への誘客を促進

#### ◆いばらきグローバルビジネス推進事業

(営業戦略部) ……【当初予算額 152百万円】

- ・日本食品の最大の輸出先である香港をはじめとする重点国への現地営業活動、展示商談会出展や海外展開の専門家による伴走支援等、県内企業の海外販路開拓を推進

#### (2) 東京圏からの転入促進・県北振興

東京圏からの転入が増加している流れをさらに加速させるための空家バンクの活用や、人口減少の著しい県北地域における起業や新事業展開支援などの事業が計上されています。

#### ◆空家バンク活用移住促進事業費

(政策企画部) ……【当初予算額 16百万円】

- ・ニーズが増加している空家バンクの登録推進等を通じて、本県への移住を促進

#### ◆県北起業家育成事業

(政策企画部) ……【当初予算額 125百万円】

- ・県北地域における地域課題を起業により解決するため、起業型地域おこし協力隊への活動支援や起業家育成講座の開催を通じて起業家を育成

#### ◆県北中小企業意識改革事業

(政策企画部) ……【当初予算額 12百万円】

- ・県北地域の中小企業を対象に、本質的経営課題に対する「気づき」を促すセミナー開催やビジネスプラン策定支援による新事業展開を促進

#### (3) つくばエクスプレス延伸方面の絞り込み

つくばエクスプレスの県内延伸について、現在は水戸方面、筑波山方面、茨城空港方面、土浦方面の4案があげられていますが、2022年度中に絞り込みを行うため、需要予測などの調査・検討事業が計上されています。

#### ◆TX県内延伸調査検討事業

(政策企画部) ……【当初予算額 18百万円】

- ・TXの県内延伸の4方面案について、その絞り込みに必要となる調査・検討

### 新型コロナウイルス感染症対策の強化

医療・ワクチン・検査の体制整備に引き続き取り組むほか、感染症対策を徹底しつつ継続的に子育て支援を行っていくための支援、経営改善や新たな事業分野への進出に取り組む中小企業・個人事業主の資金繰り支援などの事業が計上されています。

#### ◆感染症予防医療法施行事業

(保健医療部) ……【当初予算額 81,799百万円】

- ・医療提供体制の充実、ワクチン接種体制の強化、検査体制の拡充

#### ◆子ども・子育て支援事業(新型コロナウイルス対策分)

(福祉部) ……【当初予算額 315百万円】

- ・放課後児童クラブ等における感染拡大防止対策に係る支援、放課後児童クラブ等のICT化推進に係る支援、小学校臨時休校等に伴う放課後児童クラブ等特別開所支援

#### ◆中小企業資金融資制度関連事業(新型コロナウイルス対策分)

(産業戦略部) ……【当初予算額 87,453百万円】

- ・パワーアップ融資(伴走支援型)の限度額の引き上げ、新分野進出等支援融資の利用者負担軽減措置の延長、新型コロナウイルス感染症対策融資枠

「第2次茨城県総合計画」および「令和4年度茨城県当初予算」について、詳しくは、下記ホームページをご参照ください。

#### ◆第2次茨城県総合計画

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kikaku/seisaku/kikaku1-sogo/shinkeikaku/sokeishin/r4sogokeikaku.html>



#### ◆令和4年度茨城県当初予算案

[https://www.pref.ibaraki.jp/somu/zaisei/kanri/documents/01\\_220217\\_r4\\_tousyo\\_yosannannkannkeisiryoushi.pdf](https://www.pref.ibaraki.jp/somu/zaisei/kanri/documents/01_220217_r4_tousyo_yosannannkannkeisiryoushi.pdf)



(写真：茨城県HPより)